

2010年度事業活動報告

I. はじめに

2010年度は、リーマンショックによる世界同時不況から徐々に回復の兆しが見えてきたとはいえ、円高の進行や長期化などもあって依然として厳しい経済環境、雇用状況のなかでの活動となりました。

また、2010年度は政権交代後の初めての年度でもありました。それまでの30年間にわたって行われてきた政治によって拡大した格差と貧困、失われた労働の尊厳や人と人との絆など、その反省と改革を求めて2009年8月の総選挙で国民は政権交代を選択しました。

私たちは、政権交代によって労働者福祉がより前進・向上する政治的・社会的環境の土台ができたと捉え、政治に期待しつつも、政府に依存した「公助」のみの労働者福祉の確立をめざすのではなく、連合をはじめ労働金庫、全労済、生協などの共同事業団体、NPOなどの市民団体とも連携・協働して、勤労者の生活と暮らしを支える共助と共生の社会を築いていくことをあらためて強く認識して、2010年度の事業を行ってきました。

「ネットワーク SAITAMA 21 運動」(ネット21運動)は、地域のNPOや市民(団体)と連携し、労働組合のもつスケールメリットと労金・全労済・生協などの共同事業団体の機能を最大限活かし、支えあい・助け合いの地域ネットワークを結び広めて「共生の地域社会づくり」をめざす運動です。①勤労者の生涯にわたる暮らしのサポート活動、②共生の地域社会づくりへの積極的な参画、③市民社会との連帯と協働の3つの柱を基本に、以下の事業・諸活動を進めてきました。

1. ライフサポート・プログラム

- ・出前講座方式による各種「暮らし応援セミナー」の開催
- ・「暮らし応援セミナー」プログラムの整備・拡充

2. ボランティアサポート・プログラム

- ・「シニア人財バンク」の活動(登録者の現況調査、登録者交流集会)
- ・「シニア・ボランティアネット21」の機能の見直し・改善
- ・自然環境ボランティアの促進、自然環境体験(尾瀬、ときがわ)

3. 自己実現・生きがいサポート・プログラム

(2011年度からは「NPOサポートプログラム」に編入)

- ・「NPO訪問ツアー」の開催
- ・「勤労者のための、NPOインターンシップ体験事業」の開催

4. NPOサポート・プログラム

- ・「NPO応援・物品助成プログラム」

- ・地域におけるNPOと連携・協働・交流活動

5. 「ネット21運動」の普及・定着に向けた広報・宣伝活動

- ・「ワンコイン(500円)運動」展開による、ボランティア・カードの普及・拡大
- ・協賛企業の拡大

II. 運営委員会と評議員会

1. 運営委員会の役員体制

「ネット21運動」運営規約第7条に基づいて設置された、2010年～2011年度の運営委員会の役員体制は以下のとおりです。（下段は前任者）

委員長	小林 直哉 (永井 啓介)	連合埼玉副会長	*2010年12月27日交代
副委員長	島崎 映智	中央労働金庫埼玉県本部副本部長	
事務局長	竹花 康雄	埼玉労福協専務理事	
事務局次長	佐藤 道明	連合埼玉事務局長	
委員	木村 俊之 (小穴真一郎)	連合埼玉副事務局長	*2010年12月27日交代
委員	鈴木 満	連合埼玉執行委員 (自動車総連)	
委員	平尾 幹雄	連合埼玉執行委員 (電機連合)	
委員	薮島 浩二	全労済埼玉県本部総務部部長	
委員	小林 道子	埼玉生協常勤理事	
委員	村田 恵子	さいたまNPOセンター専務理事	
委員	東 一邦	さいたまNPOセンター理事	
監事	小穴真一郎 (木村 俊之)	連合埼玉副事務局長	*2010年12月27日交代
監事	新妻 央昭	中央労働金庫さいたま支店長	

2. 運営委員会の開催

運営委員会は、事業活動計画の具体的な企画と活動の実践を図るために、計8回開催しました。

(1) 「第1回運営委員会」

<開催日> 2010年4月20日(火) 13:00～

<場所> 連合埼玉会議室

<議題>

1. 運営委員の一部交代・2010～2011年度役員体制について
2. 2010年度「収支決算報告」について
3. 2010年度「活動事業計画(案)」について
4. 2010年度「収支予算(案)」について
5. 2010年～2011年度評議員の推薦について
6. 2010年度評議員会の開催について
7. その他
 - 1) 勤労者のためのNPOインターンシップ修了式(報告会)の件
 - 2) 2010年度版「ネット21カード」展開集約結果

(2)「第2回運営委員会」

<開催日> 2010年6月11日(金) 10:00~

<場 所> 連合埼玉会議室

<議 題>

1. 2010年度「主要事業活動計画」の実施概要について
 - (1)「ボランティア・サポートプログラム」
 - 夏休み親子体験プラン(尾瀬、ときがわ)について
 - (2)①「NPO応援・物品助成プログラム」について
 - ②シニア人財バンク登録者交流会の企画について
 - ③その他(田舎暮らし体験)
- 2.「ネット21運動」の広報・宣伝の充実にむけて
 - ・ホームページの見直しについて

(3)「第3回運営委員会」

<開催日> 2010年7月21日(金)

<場 所> 連合埼玉会議室

<議 題>

1. 8月~9月実施の事業について
 - 1)「尾瀬に学ぶ、夏休み親子体験2010」
 - 2)夏休み親子自然体験 in ときがわ:山の学校
- 2.「NPO応援・物品助成プログラム」の展開について
3. 10月~3月実施の事業について
 - 1)シニア人財バンク登録者交流会の企画概要について
 - 2)NPO訪問ツアーについて
 - 3)勤労者のための、NPOインターンシップ体験事業について

(4)第4回運営委員会

<開催時> 2010年9月14日

<場 所> 連合埼玉会議室

<議 題>

1. 2010年度事業の開催要綱について
 - 1)2010年度NPO 応援・物品助成プログラムについて
 - 2)シニア人財バンク登録者交流会の開催要綱について
 - 3)田舎暮らし体験(ときがわ)について
 - 4)NPO訪問ツアーについて
 - 5)NPOインターンシップ事業の日程について
2. その他
 - 1)「ネット21運動」基本財産について
 - 2)ときわ会館としてのNPO活動支援(和室貸し出し)の提案について
 - 3)検討事項
 - 出前講座のメニュー整理、インターンシップの開催方法、等について

(5) 第5回運営委員会

<開催日> 2010年10月15日

<場 所> 連合埼玉会議室

<議 題>

- 1) 2010年度 NPO 応援・物品助成プログラムについて
◇パソコン寄贈先の選定(審査)
- 2) シニア人財バンク登録者交流会の開催について
- 3) 田舎暮らし体験(ときがわ)の対応について
- 4) NPO訪問ツアーについて
- 5) NPOインターンシップについて

(6) 第6回運営委員会

<開催日> 2010年11月24日

<場 所> 連合埼玉会議室

<議 題>

1. 2010年度事業の開催について
 - 1) NPO訪問ツアーの実施要綱について
 - 2) NPOインターンシップの実施要綱について
 - 3) ときがわ山里文化研究所との連携について
2. 2010~2011年度役員の一部見直しについて
3. 次年度の事業等について(意見交換)

(7) 第7回運営委員会

<開催日> 2010年12月27日

<場 所> 連合埼玉会議室

<議 題>

1. 中央労金への出資に伴う運営規約の一部変更について
2. 2010年度「NPO体験事業(インターンシップ)」の実施について
3. 2011年度ワンコイン運動の展開について
4. 「ネット21運動」運営委員会役員の一部変更(交代)の手続きについて

(8) 第8回運営委員会

<開催日> 2011年2月16日

<場 所> 連合埼玉会議室

<議 題>

1. 2011年度ワンコイン運動の展開状況・今後の日程について
2. 2011年度版 ボランティア・カードについて(デザイン、単価など)
3. さいたま市市民活動センター第4回フェスティバルへの参加について
4. 2011年度事業について<主要事業の内容・実施時期 など>
5. 2011年度「評議員会」の開催について

3. 評議員会の体制

2010年～2011年度 評議員名簿

構成団体	評議員氏名	所属団体名
連合埼玉 18名	小林 孝 徳	UIゼンセン同盟
	宮 崎 太 郎	サービス・流通連合
	加 藤 幸 一	自治労
	鈴 木 照	JP労組
	五十嵐 晃	情報労連
	長 竹 弘	私鉄総連
	萩 元 義 則	フード連合
	鈴 木 昭 二	運輸労連
	小 川 義 寛	印刷労連
	中 島 幹 夫	JR総連
	星 谷 光 治	基幹労連
	吉 田 和 男	埼玉教組
	大 室 元 信	青年委員会
	上 杉 裕 子	女性委員会
	福 田 博 之	さいたま市地域協議会
	徳 江 重 明	比企地域協議会
	宮 前 剛 志	熊谷・深谷・寄居地域協議会
	神 沢 聡	北埼玉地域協議会
埼玉シニア連合 2名	生 方 文 人	埼玉シニア連合会長
	中 村 正 夫	埼玉シニア連合事務局長
埼玉労福協 8名	鈴 木 重 行	中央労金埼玉県本部営業担当部長
	広 嶋 大 助	中央労働金庫埼玉県本部調査役
	山 田 勝 弘	全労済埼玉県本部事業推進部部長
	町 田 恒 夫	全労済埼玉県本部事業推進部次長
	小 島 良 二	ろうきんサービス埼玉支社総務部長
	仲 内 南 夫	埼玉生協事業部部長
	江 森 英 和	ときわ会館営業担当次長
田 中 み さ 子	埼玉労信協事務局長	
さいたまNPO センター2名	松 本 博 之	さいたまNPOセンター理事
	小 杉 佐 智 子	さいたまNPOセンター専任委員

4. 評議員会の開催

◇2010年度第1回評議員会

<開催日> 2010年5月20日

<場 所> ときわ会館（中ホール）

<議 題>

(1) 2009年度「事業活動」報告

- (2) 2009年度「収支決算」報告並びに監査報告
- (3) 2010年度「事業活動計画(案)」について
- (4) 2010年度「収支予算(案)」について
- (5) 評議員の委嘱及び委嘱状の交付について

Ⅲ. 2010年度事業活動

1. ライフサポート・プログラム(暮らしの応援・出前セミナー)

労働や生活・暮らしに関わる多様な研修メニューを整備した「ライフサポート・プログラム(暮らしの応援・出前セミナー)」は、連合埼玉の各加盟組合・地域協議会、地域労福協を中心に、また、本年度においては構成組織のOB会や労金と取引のある未組織(連合未加盟)からの問い合わせや申し込みもあり、24講座が開催されました。

(昨年は12講座)

<開催実績一覧表:別紙添付>

2. ボランティアサポート・プログラム

ボランティア活動をやりたい人、ボランティアを求める人(団体)をつなげる「ボランティアサポート・プログラム」として、以下の活動に取り組みました。

(1)「シニア人財バンク登録者交流会」

地域でボランティア活動を希望する50才以上のシニアが登録する「シニア人財バンク制度」の登録者とボランティア活動をつなぐことを狙いに「シニア人財バンク登録者交流会」の開催を計画しましたが、参加者が少なかったこともあり、2010年度の開催は中止としました。

交流会開催の案内と合わせて「シニア人財バンク登録者の現況調査」を行い、継続登録等の意向確認をした結果(名簿上登録者151名)、51名が継続登録となりました。今後の開催方法等については再考することとし、当面は、登録者に対してボランティア活動やNPO活動の情報提供を行っていくこととしました。

(2)「自然環境ボランティア促進事業・自然環境体験事業」

自然環境ボランティア促進事業、自然環境体験事業として、協賛企業である尾瀬林業の協力のもと、「尾瀬の自然に学ぶ、夏休み親子体験プラン」を実施するとともに、パソコン寄贈先NPOであり、自然環境の保護・保全及びその体験事業を積極的に進めている「ときがわ山里文化研究所」と協働し、「山の学校」を実施しました。

また、「ときがわ山里文化研究所」が大東文化大学と連携して取り組んでいる「源流の森プロジェクト」の視察を行いました。

①「尾瀬の自然に学ぶ、夏休み親子体験プラン2010」

<開催日> 2010年 8月 8日(日)~ 9日(月)

<場 所> 尾瀬ヶ原・東電小屋

<参加者> 24名

② 親子夏休み体験プラン2010「山の学校 in ときがわ」

<開催日> 2010年 8月21日(土)
<場 所> ときがわ町
<参加者> 28名

③「源流の森プロジェクト」の視察

※埼玉県が勧める「中山間地域の活性化を図るための支援事業」に、大東文化大学チームが参加し、「ときがわ山里文化研究所」と協働して、豊かな森づくりに取り組むプロジェクトで、雑木の仮払い・植林・下草刈りなどが計画されています。

<開催日> 2010年12月 4日(土)
<場 所> ときがわ町大野地区(山林)
<参加者> 3名

3. 自己実現・生きがいづくりサポート・プログラム

(1)「NPO訪問ツアー」

連合埼玉や福祉事業団体など、各組織・団体は各々が地域や社会に目を向けた活動、社会貢献活動に取り組んでいます。この事業は、まずは、それらの組織・団体の役員・職員の皆さん自らが、地域で活動しているNPOを「知ろう・見よう・学ぼう!」との目的で2009年度から始めた事業です。

<開催日> 2010年12月15日(水)
<訪問先>

1) ふじみの国際交流センター(ふじみ野市大井)

外国人の自立支援と多文化共生をめざしている。外国人の生活相談、DV被害者のシェルター運営、日本語教室、子供のための学習教室の開催、など14年間の活動実績があります。

2) 鶴ヶ島学童保育の会: コミュニティーレストランここほっと(鶴ヶ島市)

鶴ヶ島市の学童保育団体7つが合同で設立。セントラルキッチンをつくって共同で「おやつ」をつくることにしたが、加えて自分たちが集まれる、また地域の人たちが集まれるコミュニティーレストランを併設した。2009年にオープン。

3) 所沢市民活動連絡会: NPO カフェ・所沢/NPO 法人わーくぽけっと

(所沢市緑町)

/八百屋ごんべい

NPO カフェ・所沢は、7年前に市民が市民の課題を解決する「まち」にしたいと結成された。勉強会や行政計画への参加を行って、市民・市民団体のネットワークを形成している。諮問団体の連絡組織と地元野菜の販売所と障害者団体のわーくぽけっとが運営する「地域生活支援センター」が1か所に同居している。

4) 所沢学童クラブ(所沢市松葉町)

11年前から所沢市内23か所で受託して「学童クラブ」を運営し、1,400人以上の児童を受け入れている。一つひとつの学童クラブの成り立ちは、親がつくった自主保育など様々であるが、その連合体ともいえる。

<参加者> 8名

永井啓介(運営委員会委員長)、村田恵子(運営委員:さいたまNPOセンター)

山口健一（UDトラックス労組）、 鶴谷一仁（連合埼玉副事務局長）
小穴真一郎（連合埼玉副事務局長） 渡辺史子（連合埼玉 職員）
竹花康雄（運営委員会事務局長）、永田信雄（運営委員会事務局）

（2）勤労者のための「NPOインターンシップ体験事業」

勤労者や定年退職者などが地域社会に積極的に参加することを支援する事業として実施しています。

（体験者5名）

①体験受入れNPOと体験者

◇綾瀬川を愛する会（川口市戸塚）

綾瀬川をワーストワン（全国で一番汚れがひどい川）からの脱却をめざして、
官民一体となって、綾瀬川をきれいにする活動を進めています

体験者：平尾 幹雄（電機連合埼玉地協 事務局長）

◇NPO 法人 冒険あそび場ネットワーク（草加市松江）

子どもの自由な遊びを保障する冒険あそび場を週5日常設開園しています。

体験者：森田 行男（シニア人財バンク登録者）

◇NPO 法人「親子でつくる子育ての会・わらしべの里」（熊谷市善が島）

認可を受けずに（無認可）、子どもたちを自然の中で自由な保育園運営を行っています。

体験者：鶴谷 一仁（連合埼玉副事務局長）

馬場 昭（シニア人財バンク登録者）

◇NPO 法人 バリアフリーアートの会わーくぼけっと（所沢市）

障がいのある人たちが、社会で生きていくために必要な力を伸ばしていくことを
目的にコミュニケーションゲームや音楽、人形劇などの活動をしています。

体験者：田尻 富子（連合埼玉特別執行委員）

②「事前説明会」と「報告会」の開催

◇「事前説明会」

日 時 2011年1月24日（月）

会 場 さいたま市「あけぼのビル」502号室

内 容 ・参加者自己紹介（体験先NPO・体験応募者）

・ミニ講座「NPOの基礎知識」

・ミーティング（体験先NPOと体験者の体験日程等について）

◇「報告会」※下記報告会は、東北地方太平洋沖地震発生直後のため、延期としました。

日 時 2011年3月19日（土）

会 場 さいたま市「あけぼのビル」502号室

内 容 ・インターンシップ体験者報告

・受入れNPO報告、意見交換会 等

4. NPOサポート・プログラム

「NPO応援・物品助成プログラム」として、本年度も12団体へのパソコンの寄贈をおこなうこととし、連合埼玉の17回地方委員会で贈呈式を行いました。

[パソコン助成先NPO及び地域団体]

<別紙：添付>

5. 「ネット21運動」の普及・定着に向けた広報・宣伝活動

(1) ワンコイン運動の展開

普及・定着キャンペーンとして展開したワンコイン運動に協力いただき14,562枚のボランティア・カードの発行となりました。

(2) 協賛企業の拡大

新たにボーリング場：株式会社スポーツが運営する「スポーツ上尾スポーツレーンズ」と「スポーツ浦和国際ボウル」との契約を行いました。

6. 地域のNPOとの連携・協働・交流活動

さいたま市市民活動支援サポートセンター・第4回フェスティバル

<開催日> 2011年2月26日(土)～27日(日)

<会場> さいたま市市民活動サポートセンター(浦和パルコビル9階)

<主催> 第4回フェスティバル実行委員会

<参加者> 7,009名(2日間の延べ参加者数)

<参加団体> 連合埼玉・埼玉労福協外 103団体(市内NPO・非営利団体)

<参加者> 連合埼玉(木村・鶴谷・相場・吉川・安井・清水)

労福協(竹花・永田)

中央労金埼玉県本部(鈴木・若旅)

全労済埼玉県本部(猿橋)

セカンド・ハーベスト・ジャパン(秋元・服部)

<内容> ◇プレゼンテーション

◇各種相談コーナー(連合埼玉)

◇各種体験コーナー

◇ミニライブ(琴・ゴスペル・歌謡ショー・エイサー等)

◇ミニ講座・セミナー(労福協：フードバンク、労金：多重債務対策)

(全労済：住まいと暮らしの点検)